CSSのまとめ

コンピュータ基礎実習(上級) 清水 淳紀

CSSとは

- CSS = Cascading Style Sheet「スタイルシート」あるいは、単に「スタイル」とも呼ばれる。
- ・HTMLに、見た目のデザインに関する設定を行うための仕組み。

・なるべくHTMLをシンプルにして、デザインは原則CSSで行うべき。

CSSの書き方(基本)

CSSの基本

```
セレクタ { プロパティ:値; プロパティ:値; ...... }
```

```
セレクタ: デザインを適用する範囲を指定する。
```

- プロパティ:デザインの種類を指定する。値: 具体的な設定値を指定する。
- 「プロパティ:値;」のセットは、{}の範囲内にいくつでも書ける。

(具体例)

```
h1 { color:red; background-color:yellow; }
```

(意味)

h1 HTML中に存在する全ての「h1」タグの範囲に

デザインを適用する。

color:red; 文字色(color)を赤色(red)にする。

background-color:yellow; 背景色(background-color)を黄色(yellow)にする。

CSSをHTML内に記述する方法

・CSSをHTML内に記入するには、3つの方法がある。

- 1. 別のCSSファイルに記入したCSSを、HTMLに読み込ませる方法
- 2. HTMLの冒頭部分にCSSをまとめて記入する方法
- 3. Style属性を使って、CSSを使いたい場所ごとに記入する方法

CSSをHTML内に記述する方法 1

別のCSSファイルに設定した内容を HTMLに読み込ませる方法

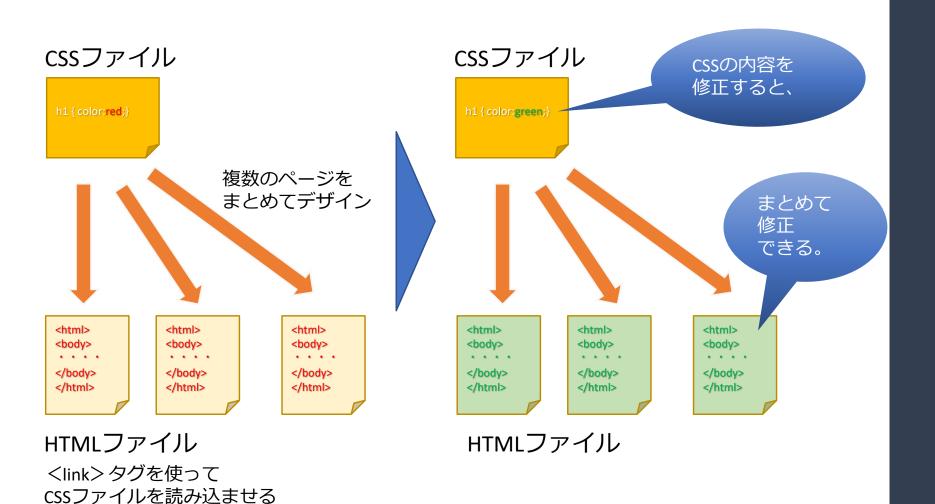
・CSSだけが記入されたファイルを別途用意し、HTMLの<head>~</head>範囲内に

(例) Mystyle.css

```
h1 { color:red; }
h2 { color:green; }
```

(例) test.html

- ・ HTMLには<link>タグを1行追加するだけ。CSS有効化の手続きが簡単。
- ・ HTMLのページ数が増えても、デザインの管理が楽。
- 原則この方法がおすすめ。



・HTML文頭にある<head>タグの範囲内に、<style>タグを使ってCSSを記入する。 (例)



- このページ内だけにcssの効果が及ぶ。
- ページごとに特別なルールを決める際に便利。

CSSをHTML内に記述する方法 3 Style属性を使う方法

・任意のHTMLタグに style 属性を追加して、「プロパティ:値;」を直接記入する。

(例)

```
<h1 style="color:red;">これは見出しです。</h1>これは、段落です。
```

- ・CSSを記入したタグの範囲だけに、CSSの効果が及ぶ。 ただし、HTMLの内容が複雑になるデメリットがある。
- セレクタを記入する必要はない。
 - ・「プロパティ:値;」を列挙するだけで良い。

CSSの適用範囲

・CSSの効果は、HTMLタグで囲った範囲に適用される。

h1 { background-color:blue; color:white; }

<h1>見出し1</h1> これはCSSのサンプルです。

見出し1

これはcssのサンプルです。

あらかじめタグで囲われていない場所をデザインしたい場合は、タグや<div>タグで囲ってから style="..." を記入するとよい。

このキーワードは、重要です。

このキーワードは、重要です。

タグや<div>タグは、単体では何の効果もありません。
「style=""」などと併用することで、CSSの効果が及ぶ範囲を決める役割があります。

CSSの特殊な書き方「クラス」

- ・あるデザインを、様々な個所で使いたい場合には「クラス」を使うと便利。
- クラスの定義方法 (CSS)

```
.クラス名 {プロパティ:値; プロパティ:値; ......}
```

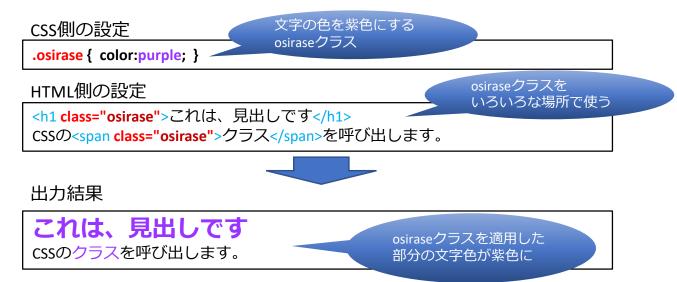
セレクタにあたる部分に、先頭にドット「.」をつけて、クラス名を決める。 クラス名は好きな名前で良い。(半角英数字にしておくのが無難) {}の範囲内に、そのクラス用の設定を記入する。

pinky という名前で新しいクラスを定義する例

.pinky { color:pink; background-color:#FFBBCC; }

クラスの使用例

• osirase と言う名前のクラスを使う場合



「class="クラス名"」とHTMLタグに追記するだけで、好きなタグ範囲に、 そのクラスのデザインを何度でも適用できる。

まとめ

- CSSはHTMLにデザインを追加するもの。
- ・CSSの書き方は簡単

```
セレクタ { プロパティ:値; プロパティ:値; ... } h1 { color:red; background-color:yellow; }
```

- HTMLにCSSを適用するには、3つの方法がある。
 - 1. 別のCSSファイルに設定した内容をHTMLに読み込ませる方法
 - 2. HTMLの冒頭部分にCSSをまとめて記入する方法
 - 3. Style属性を使う方法
- ・特殊な書き方「クラス」を使うと、あるデザインを好きなタグに対して何度でも適用で きる。
- タグで囲われていない範囲をデザインしたい場合は、タグや<div>タグで 囲ってから「class="クラス名"」や「style="プロパティ:値; ..."」を使ってデザインする。